

新時代のピアノ・デュオ



アンセツトシス

88×2台=
176鍵でつづる
ラブソディー!



un sept six

Rhapsody by Two Pianos

高橋 優介
Yusuke Takahashi

山中 惇史
Atsushi Yamanaka

PROGRAM

G.ガーシュウィン(176編):
ラブソディー・イン・ブルー
~Tribute to the Americans history
G. Gershwin (Arr. 176):
Rhapsody in Blue - Tribute to the Americans history

E.エルガー(高橋編): 愛の挨拶
E. Elgar (Arr. Takahashi): Salut d'Amour, op. 12

W.A.モーツァルト:
アンダンテと5つの変奏曲 ト長調 K.501
W.A. Mozart: Andante with 5 variations in G major, K.501

R.ロジャース(山中編):
映画『サウンド・オブ・ミュージック』より
「エーデルワイス」
R. Rodgers (Arr. Yamanaka): Edelweiss, from "The Sound of Music"

J.ウィリアムズ(山中編):
映画『スター・ウォーズ』より「メインテーマ」
J. Williams (Arr. Yamanaka): Main Theme, from "Star Wars"

ほか

2025 **5/11** (日) **母の日記念♡** 2:00PM開演(1:15PM開場) A 3,000円 B 1,000円(全席指定・税込)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス **0798-68-0255** 兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール
10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売 **12/15**(日) チケット予約 ●芸術文化センター 0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp> 芸術文化センター会員先行予約受付開始 **12/13**(金)
●チケットひあ <https://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <https://l-tike.com> ●イープラス <https://eplus.jp>

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター [12/17(火)より、残席がある場合のみ] ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。 ※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※プレイガイドでの販売はインターネットのみです。詳細については各プレイガイドにお問合せください。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



鍵盤数176から奏でられる、創造性に満ちた愛の音色 演奏者自身による編曲で、ピアノ・デュオの新時代を切り拓く！

2022年秋、ピアノ界で“異端児”とも呼ばれる二人が成す気鋭のデュオがKOBELCO大ホールに新旋風を巻き起こしました。彼らの名はアンセツシス——ピアノの鍵盤数である88(鍵)×2(台)＝「176」という意味を持つユニットです。

山中惇史と高橋優介。ピアニストとしての活動はもちろん、作曲家、編曲家としても多彩な活躍を続けるふたりが出逢ったことで、起こった化学反応は凄まじいものでした。70人から成るオーケストラが演奏する華やかなあの名曲が、誰もが耳にしたことのある、絢爛たるスペクタクルを彩るあの映画音楽が、彼ら自身による編曲を経ることで、あまりに独創的に、そして極めて創造的に展開されたのです！

もちろん今回のプログラムも、彼らの演奏の醍醐味を堪能できる

曲目がズラリ。きっと出色の1曲になるであろう「ラブソディー・イン・ブルー」は、アン・セツ・シス渾身の編曲で。「アメリカ史へのトリビュート」との壮大な副題の付いた演奏では、めくるめくどんな景色を魅せてくれるのか、いまから楽しみでなりません。ほかにも、嫺やかな愛に溢れ、ロマンティックな旋律が人気を博すエルガー「愛の挨拶」、モーツァルトの名曲らしく、優美さと豊かな響きが魅力の「アンダンテと5つの変奏曲」と、まさに美しい愛の音色が並びます(本公演日は、折しも「母の日」と重なる特別な日曜日)。そしてもちろん、彼らならではの名編曲でお聴きいただく、珠玉の映画音楽も。

新時代の寵児たち、彼らの音楽への愛に満ちたひととき。最も身近で大切なあの人と、ぜひまたとない時間を過ごしませんか。



2022年11月23日KOBELCO大ホール公演より

©坂島陸

アンセツシス un sept six (176)

作曲家・ピアニストの山中惇史と高橋優介によるピアノ・デュオ。演奏・創作(作編曲)の双方で活動を展開する2人により2020年に結成、独自の作編曲作品を軸にプログラミングするユニークな活動により注目を集める気鋭のユニットである。アンセツシスとは“176”のフランス語読み、88鍵×2＝176から由来する。2台のピアノの176鍵盤を縦横無尽に駆使し、新たな世界を探る。2020年3月に東京・紀尾井ホールにて「レスピーギ/ローマ三部作」ピアノ2台版を世界初編曲し演奏、そして同時にカワイ出版より楽譜を出版、新たな2台ピアノのレパートリーの誕生に話題を集め、絶賛された。2021年秋にはエイベックス・クラシックスよりジョン・ウィリアムズのアルバムをリリース。

X:unseptsix2023 Instagram:176_unseptsix



©TakafumiUeno

山中 惇史 (ピアノ、作曲・編曲) Atsushi Yamanaka (Piano, Composition and Arrangement)

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。後に同大学器楽専攻ピアノ科卒業。第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位受賞。器楽、室内楽、合唱など多数がヤマハミュージックメディア、カワイ出版などから出版されている。またピアニストとしては2018年にリサイタル・デビュー。共演者としても絶大な信頼を置かれ、国内外の著名なアーティストに指名を受け共演を重ねる。ピアニスト、作曲家、アレンジャーとして参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選出されている。東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団など多数のオーケストラとの共演、作品が演奏されている。2020年にピアニスト・作曲家の高橋優介とのピアノデュオ「176」(アンセツシス)を結成。自らの編曲によりオーケストラ作品の演奏に挑み、第1弾として「レスピーギ/ローマ三部作」をメインに演奏会を開催、同時にカワイ出版より楽譜出版、ライブ録音もされた。2021年10月アルバム「ジョン・ウィリアムズ・ピアノコレクション」をエイベックス・クラシックスより発売。2023年2月最新アルバム『ショパン -旅路-』を日本コロムビアより発売。

X:ginyamagin Instagram:yamanaka.atsushi



©AyaneShindo

高橋 優介 (ピアノ、作曲・編曲) Yusuke Takahashi (Piano, Composition and Arrangement)

上野学園大学音楽学部ピアノ科を卒業。第10回東京音楽コンクールピアノ部門第1位及び聴衆賞受賞。NPO法人芸術・文化若い芽を育てる会第5回奨学生。ピアノを齋藤由里子、横山真子、宮本玲奈、横山幸雄、久保春代、川田健太郎、草冬香各氏に師事。在学中から作曲を高畠亜生、田中範康各氏に師事。これまでに、飯森範親、前橋汀子、上野耕平、三浦一馬各氏と共演。ヴァイオリストの今井信子氏が毎年冬に開催していた小樽ヴァイオリンマスタークラスで3年間アシスタントピアニストを担当。ソロだけでなく室内楽やピアノデュオとしても意欲的に活動。2020年にピアニスト・作曲家の山中惇史とのピアノデュオ「176」(アンセツシス)を結成。自らの編曲によりオーケストラ作品の演奏に挑み、第1弾として「レスピーギ/ローマ三部作」をメインに演奏会を開催、同時にカワイ出版より楽譜出版、ライブ録音もされた。2021年10月にはアルバム「ジョン・ウィリアムズ・ピアノコレクション」をエイベックス・クラシックスより発売。



プロムナード・コンサートってなあに？

プロムナード・コンサートとは、1830年代のイギリス・ロンドンなどで開催されていた野外コンサートのこと。お茶を飲んだり歩き回ったりしながら聴く気軽なコンサートだったようです。芸術文化センターでも、散歩の途中にちょっと立ち寄りながら感じるような感覚で、気軽に楽しんでいるコンサートをめざして、一流アーティストの演奏を手軽な価格でお届けしています。

